

平成28年度第2回地域の魅力発信セミナー

平成29年2月
地方連携推進室

平成29年2月13日(月)、ホテル椿山荘東京において、地方自治体(石川県金沢市、山口県宇部市、沖縄県、宮城県、愛媛県今治市)との共催により、平成28年度第2回「地域の魅力発信セミナー」を開催しました。駐日外交団、駐日商工会議所、企業関係者等より100名を超える来場者を得て、各地方自治体がそれぞれの魅力をPRしました。

セミナーは二部構成で、第1部では各自治体によるプレゼンテーション(各15分程度)の他、内閣官房から、2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会におけるホストタウンの推進について説明がありました。第2部では各自治体がブースを出展し、試飲・試食や体験コーナーを通じてそれぞれの特産品及び魅力を伝えました。

<石川県金沢市>

2015年3月に開業した北陸新幹線により東京から2時間半で結ばれ、国内外からの観光客が急増している金沢市。プレゼンテーションでは、市職員から金沢の見どころを紹介した他、金沢大学に在学する留学生が、コンパクトな街で便利なことや、美味しい食べ物が豊富なことなど、実際に住んで感じた金沢の魅力を伝えました。

交流会では、金箔貼り体験コーナーが盛況であり、参加した外交団等は様々な模様の金箔をはがきサイズの紙に丁寧に貼り付けていました。同市のPRスタッフは留学生を含めて4名という少人数でしたが、全員が英語での対応が可能であり、外国の方にも柔軟に対応できていました。また、トレイに落雁や麩菓子などの特産品をのせて会場内を歩いて来場者に配るなど、積極的なPR活動も行われました。



金箔貼り体験コーナー

<山口県宇部市>

第1部では、第二次世界大戦後、工業都市として発展した宇部市が、深刻な公害に苦しみ、その後、公害を克服して「緑と花と彫刻のまち」として生まれ変わった変遷が説明されました。その中で主に、1961年から開催している野外彫刻国際コンクール(UBEビエンナーレ)がプレイアップされました。プレゼンテーション終了後、特に内戦や難民問題を抱えている国々の外交団が宇部市のブースに立ち寄り、「希望をもらった」、「感動した」等の感想をもらっていたとのこと。今後、UBEビエンナーレが平和を象徴する取組としても更に注目されることが期待されます。



プレゼンテーションの様子



UBEビエンナーレ 彫刻広場

ブースでは、UBEビエンナーレの彫刻広場をバーチャルリアリティ(VR)で体験できるコーナーも人気。来場者は、VR機器を装着して、巨大な彫刻を見上げて驚きの声を上げていました。他にも日本酒の試飲が好評だったようです。

<沖縄県>

沖縄県は、国際的に卓越した科学技術の研究が行われている「沖縄科学技術大学院大学(OIST)」をPR。プレゼンテーションでは、OIST研究者が、沖縄の特産品である「オキナワモズク」や「海ぶどう」のゲノム解読に関する研究について説明しました。「長寿につながる健康食」と紹介された「オキナワモズク」と「海ぶどう」は、交流会での試飲コーナーで提供され、大変好評でした。特に、「海ぶどう」は、鮮度の高いものを食べてもらいたいとの県側の強い意向で、セミナー当日に沖縄から持ち込まれました。また、セミナー開催翌日には、早速、外交団からOISTに関する資料提供の依頼があるなど反響があったようです。



プレゼンテーションの様子

<宮城県>



雄勝硯を使った書道体験

宮城県は、外資系企業誘致のプレゼンテーションを行い、新幹線で90分という都心へのアクセスの良さや、コスト競争力、財政的支援等の優れた投資環境をPRしました。交流会では、大使館関係者より投資環境について照会があった他、今年東日本大震災から6年を迎える今年、復興状況等について駐日外交団や外国プレス等からの注目が高かったようです。また、「食材王国みやぎ」との宣伝文句の通り、宮城の試飲試食が美味しかったとの声が多く、ほたてのバター焼きや、スパークリング日本酒、透明度のあるトマトジュース、ほやのせんべいなど、いずれも大変好評でした。仙台・宮城観光PRキャラクターの「むすび丸」との写真撮影が予想以上に人気で、「むすび丸」は大忙しだったようです。他にも、伝統的工芸品である雄勝硯(おがつすずり)を使った書道体験も行われました。

＜愛媛県今治市＞

来場者から大変な好評を得たのが今治市のプレゼンテーションとブースでした。プレゼンテーションでは、地域おこし協力隊の二人が活躍。冒頭、一人は甲冑を身につけた海賊衆として登場して勝ちどきを上げて会場を盛り上げ、もう一人は自転車に乗って登場し、サイクリングロードとして国内外から注目を集める「しまなみ海道」を市職員とともにPRしました。特に自転車で登場した「Yoshi」は、来場者アンケートの良かった点に「Yoshi」との記述が複数あるほどの人気ぶりで、交流会でもサイクリングの話で多くの各国外交団と盛り上がったようです。



しまなみ海道サイクリング・バーチャル体験

ブースには、しまなみ海道のサイクリングをバーチャル体験できる装置を設置し、体験してくれた方には今治タオルを贈呈するという魅力的な企画が実施されました。他にも、蛇口をひねれば美味しいみかんジュースが出てくる企画も来場者に好評でした。

セミナーに参加した外交団等からは、「様々な地方の素晴らしさを知ることができた」、「地方自治体のスタッフと直接話げできたことは有意義だった」などの声が聞かれました。外務省では、引き続き、駐日外交団等に地方の魅力を発信する場を提供するなど様々な取組を行ってまいります。(了)